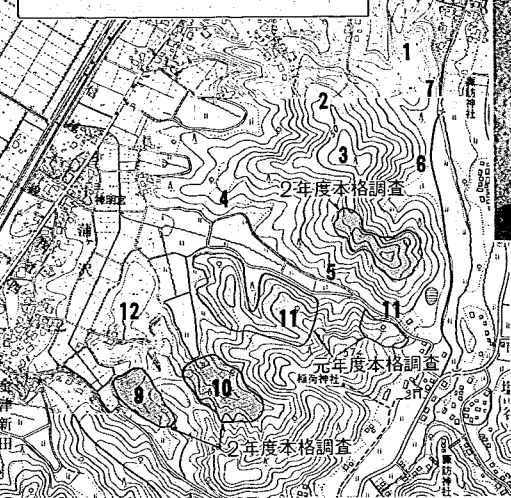


- 1 埋葬地遺跡 (縄文・弥生時代)
- 2 八幡山古墳 (古墳時代)
- 3 八幡山遺跡 (弥生時代)
- 4 鳥鷲場遺跡 (縄文時代)
- 5 大入遺跡 (奈良・平安時代)
- 6 古津初越遺跡 (奈良・平安時代)
- 7 古津初越B遺跡 (奈良・平安時代)
- 8 金津初越遺跡 (奈良・平安時代)
- 9 居村A遺跡 (奈良・平安時代)
- 10 居村B遺跡 (奈良・平安時代)
- 11 居村C遺跡 (奈良・平安時代)
- 12 神田遺跡 (縄文時代)



八幡山遺跡南地区の遺跡



堅穴住居跡

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

八幡山遺跡南地区

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

「八幡山遺跡南地区」は、昭和六十二年に確認調査を行った

環濠と堅穴住居跡七基を確認

大和政権の最前線基地の可能性も

今年度の遺跡調査の概要から

市教育委員会では、金津丘陵に点在する遺跡の性格を知るため、昭和六十二年から発掘調査を進めています。

今年度は、すでに製鉄関係の遺物・遺構が確認されています。

居村A遺跡

遺存状態良好な
堅形製鉄炉を発掘

「居村A遺跡」は、次のページの遺跡分布図にあるように、市道蒲ヶ沢第九号金津線の北側、標高三十メートルほどの丘陵南側斜面に立地しています。発掘調査面積は、約七十六平方メートルにおよびます。発掘された遺構は、製鉄が「堅形炉」一基、木炭窯（木炭を焼いた窯）、四基、焼土坑（壁面の焼けた穴で、簡易に炭を焼いた跡）十数基です。

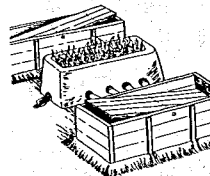
「居村A遺跡」は、次のページの遺跡分布図にあるように、市道蒲ヶ沢第九号金津線の北側、標高三十メートルほどの丘陵南側斜面に立地しています。発掘調査面積は、約七十六平方メートルにおよびます。発掘された遺構は、製鉄が「堅形炉」一基、木炭窯（木炭を焼いた窯）、四基、焼土坑（壁面の焼けた穴で、簡易に炭を焼いた跡）十数基です。

居村B遺跡

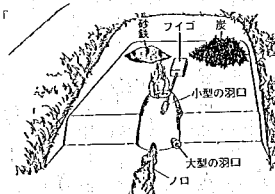
炉内にも残る
先人の技術と知恵

「居村B遺跡」は、居村A遺跡の北側にある入りくんだ小さな谷の南側と北側の斜面にあります。発掘調査面積は、約九千四百平方メートルです。斜面は柿田地の造成でかなり崩れていましたが、製鉄炉

製鉄炉復元図



長方形箱形炉



半地下式堅形炉

金津丘陵は鉄素材の生産工場

古代の製鉄は、原料となる砂鉄と燃料の木炭をいっしょに炉の中へ入れ、フイゴで風（空気を送りながら、高温で砂鉄を溶かす方法で行われていた。そのときに、鉄は炉の底にたまり、不純物は炉の外に流し出された。この不純物が鉄滓（くろくさ）で、製鉄炉の周辺に多く散在しています。鉄は、さらに純度を高める精錬の過程を経た後に、鍛冶や鋳造によって鉄製品に加工されるのですが、この地域では、鉄素材の精錬段階までの存在しか明確になっていません。

金津丘陵で製鉄が行われた当時、金津は越後国蒲原郡に属していました。ここで作られた鉄素材は、主に郡内の平野部にある一般集落（例えば、磐越自動車道工事のため発掘調査を行っている上浦遺跡など）に運ばれ、鍛冶作業を経て農具や工具に加工されたものと思われています。



居村A遺跡の木炭窯（中央の溝は排水溝）

お買物、ご用命は市内で

電気のことなら、お気軽に！

お宅の家電品はすべて調子よくお役に立っておりますでしょうか？ちょっと点検してみませんか。もし、お困りのもの、ご不満のものがございましたら何なりとご相談下さい。

（どのメーカーでも結構です）

※午後8時まで営業
OYADEN (株) 八重電商事
新津店 新津市本町2丁目17-13 ☎ (0250) 24-3131

住まいのガードマン

電話(0250)24-2287

南山中工務店

五十嵐便利サービス

新津市滝谷町19-3

- 便所の改造
- 雨漏り修理
- カワラの吹付
- 風呂場の改造

（ユニットバスに入れ替え）

お買物、ご用命は市内で

イタリア生まれの情熱のデザート

ティラミス [発売中]

今!! 人気の話題のお菓子 にいつ サカヤ

（売り切れの場合はご容赦下さい）

本町2 ☎22-0112

